

エコクリーンプラザみやざき 排出源等及び環境モニタリング調査結果について（平成23年 10月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、エコクリーンプラザみやざきの安心・安全な施設運営が行われていることを確認するために、公害防止協定書に基づき、モニタリング調査（排出源等モニタリング調査、環境モニタリング調査）を定期的に行っております。平成23年10月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成23年11月30日

財団法人宮崎県環境整備公社

○排出源等モニタリング — 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	連続測定	連続測定	連続測定		
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者	焼却炉運転委託業者	焼却炉運転委託業者		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	59	53	31	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	10未満	10未満	10未満	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

調査結果の評価

各調査項目ともこれまでと大きな変化は無く、全ての項目で評価基準を満足しています。



焼却溶融施設

○排出源等モニタリング — 防災調整池排水（敷地境界）調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成23年10月13日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.3	5.8以上8.6以下	
02. 生物学的酸素要求量	mg/L	0.6	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	11	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	36	日間平均3,000個/cm ³ 以下
05. 大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	790	(参考値 MPN/100ml)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.2	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.49	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導率(EC)	mS/m	27	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
10. 溶存酸素	mg/L	6.6	(参考値 mg/L)
11. 塩化物イオン	mg/L	5.0	(参考値 mg/L)
12~31. 鉱物油等(※4)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
32~48. PCB等(※5)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
49. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.0013	10 pg-TEQ/L以下



防災調整池排水（敷地境界）

調査結果の評価

今回は、ダイオキシン類の調査を含む32項目の調査を実施しました。この結果、全ての項目で評価基準を満足しています。

○環境モニタリング — 公共用水域（周辺河川）の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成23年10月13日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
01. 水素イオン濃度(pH)	7.0	7.3	7.9	6.5以上8.5以下	
02. 生物学的酸素要求量	mg/L	0.5未満	1.0	3 mg/L以下 (だら池は2mg/L)	
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	2	2	25 mg/L以下	
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.6	9.4	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg/L)	
05. 大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	7000	7900	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)	
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.0	2.6	(参考値 mg/L)	
07. 全窒素	mg/L	0.36	2.5	(参考値 mg/L)	
08. 電気伝導率(EC)	mS/m	21	36	(参考値 mS/m)	
09. 透視度	cm	100以上	100以上	(参考値 cm)	
10. 塩化物イオン	mg/L	4.8	6.9	(参考値 mg/L)	
11~19. カドミウム等(※2)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定	
20~39. PCB等(※3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定	
40. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.025	0.030	0.037	1 pg-TEQ/L以下

調査結果の評価

今回は、ダイオキシン類を含む20項目について調査を実施しました。この結果、上畑川上流堰、石崎川無名橋、だら池流入水で大腸菌群数が評価基準値を超えました。だら池流入水については、先月(9月)の調査結果と変化はありませんが、他の2地点については、河川水の水温の低下に伴って、大腸菌群数の値は低くなっています。



上畑川上流堰

石崎川無名橋

だら池流入水

※1：調査結果表の「未満」と表示されている値は、定量下限値のことです。

○排出源等モニタリング — 浸出水調整池地下水

調査地点	浸出水調整池地下水		評価基準
試料採取日	平成23年10月13日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	8.2	(参考値)	
02. 電気伝導率(EC)	mS/m	120	(参考値 mS/m)
03. 塩化物イオン	mg/L	5.0	(参考値 mg/L)
04. カドミウム	mg/L	0.001未満	0.01 mg/L
05. 全シアン	mg/L	0.1未満	検出されないこと
06. 鉛	mg/L	0.005未満	0.01 mg/L
07. 六価クロム	mg/L	0.01未満	0.05 mg/L
08. 砒素	mg/L	0.005未満	0.01 mg/L
09. 総水銀	mg/L	0.0005未満	0.0005 mg/L
10. アルキル水銀	mg/L	0.0005未満	検出されないこと
11. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
12~31. PCB等(※3)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
32. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下



浸出水調整池地下水

調査結果の評価

今回は、11項目の調査を実施しました。この結果、全ての項目で大きな変化はなく安定しています。

※2：検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目
 ※3：検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など20項目
 ※4：検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目
 ※5：検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど17項目

(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。